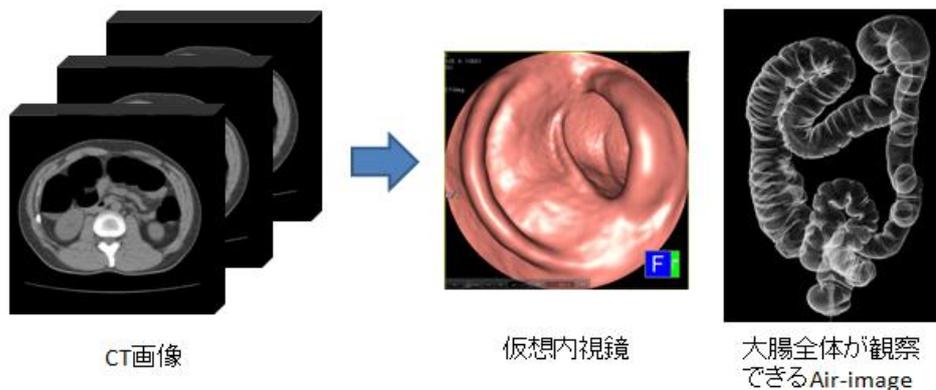


大腸CT検査をご存知でしょうか？

近年 健康番組などで放映されており、耳にされた方も多いかと思いますが、最新のCT装置と**専用の画像解析ソフト(三次元画像処理)**を使用して**仮想的に大腸を観察する検査方法**です。

大量のCT画像を三次元的に処理を行い、注腸検査や内視鏡検査に類似した仮想画像を作成し、病変の有無を確認します。



大腸CT検査も、注腸検査や内視鏡検査と同じように大腸を空っぽにします。そのため**専用の食事と下剤**を服用していただきますが、苦痛の少ない方法を用いています。**(大腸カメラのように大量の腸管洗浄液は飲みません)**

検査中は、炭酸ガスを大腸に送気します。大腸が膨らんでいないと観察できないため、若干の腹満感を伴います。撮影(息止め)時間は20秒前後ですが、仰向けとうつ伏せの撮影を行います。注腸検査のような体位変換は行いません。**大腸内視鏡検査に比べて痛みが少なく、検査時間は10分程度で終了**するため、大腸検査をご検討されている方は、是非ご相談ください。

当院に今年6月に導入した16列マルチスライスCT装置でも、大腸CT検査が行えます。

